

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月4日

上場会社名 株式会社キムラ 上場取引所 東
 コード番号 7461 URL <https://www.kimuranet.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 勇介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長兼経営企画室長 (氏名) 吉田 研一 TEL 011-721-4311
 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	19,293	6.6	1,037	△3.3	1,086	△4.8	660	13.0
2025年3月期中間期	18,094	1.2	1,073	△15.5	1,140	△14.6	584	△16.1

（注）包括利益 2026年3月期中間期 841百万円（20.8％） 2025年3月期中間期 697百万円（△24.5％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	44.53	—
2025年3月期中間期	39.40	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	38,882	19,670	43.2	1,131.18
2025年3月期	31,388	19,094	51.8	1,096.30

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 16,778百万円 2025年3月期 16,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	14.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,400	8.7	1,630	△16.3	1,680	△18.9	900	△24.0	60.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	15,180,000株	2025年3月期	15,180,000株
2026年3月期中間期	347,365株	2025年3月期	347,321株
2026年3月期中間期	14,832,668株	2025年3月期中間期	14,832,679株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の緩やかな改善が続く一方、米国政権による関税政策の影響やウクライナ・中東地域における地政学リスク、国内の物価上昇の長期化等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、職人不足や原材料価格の高騰、円安による仕入れコストの上昇もあり、住宅価格は依然と高騰推移しております。また、人口減少の影響から新設住宅着工戸数も依然下落傾向で推移しており、先行きは極めて不透明で厳しい経営環境であると考えております。

このような状況のもと当社グループは、卸売事業における新商品開発と販売強化、小売事業における各種サービスの拡充によるお客様満足度の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高192億93百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益10億37百万円（同3.3%減）、経常利益10億86百万円（同4.8%減）、親会社株主に帰属する中間純利益6億60百万円（同13.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（卸売事業）

住宅着工戸数は減少傾向が継続しており、全国では持家、総数ともに前年を下回って推移しております。4月から8月までの北海道における新設持家着工戸数は2,793戸（前年同期比25.7%減）と前年を大幅に下回っており、今後も厳しい状況が続くものと予想しております。このような状況のもと、ダクトレス全熱交換換気システム「Air save」などの換気関連商品の販売強化と適正価格による販売に努めてまいりましたが、減価償却費を含めた販売費及び一般管理費の増加などの結果、売上高51億99百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益3億92百万円（同15.9%減）となりました。

（小売事業）

ホームセンター業界においては、個人の節約志向は根強く、同業他社、他業種との競争の激化が続いております。このような状況のもと、7月にジョイフルエーカー釧路店の開業費用と既存店で賃上げを含めた販売費及び一般管理費の増加などの結果、売上高120億82百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益3億46百万円（同50.2%減）となりました。

（不動産事業）

賃貸資産の適切なメンテナンス及び運用と分譲マンション「ザ・札幌タワーズ」の引き渡し完了物件の計上により、売上高9億55百万円（前年同期比278.6%増）、営業利益4億71百万円（同288.7%増）と大きな収益貢献となりました。

（足場レンタル事業）

中・高層建築向け次世代足場の新規投入による受注が堅調な中、業務効率化と経費節減に努めました。これらの結果、売上高3億91百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益35百万円（同62.9%増）となりました。

（サッシ・ガラス施工事業）

工事現場での設計、監理、施工の基本を徹底することで業務の効率化に努めております。また、大型物件の受注も堅調に推移した結果、売上高6億65百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益66百万円（同8.6%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産・負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は388億82百万円となり、前連結会計年度末に比べて74億94百万円増加しております。これは主に、現金及び預金が12億55百万円、棚卸資産が13億74百万円、その他の流動資産が2億97百万円、有形固定資産が42億46百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は192億12百万円となり、前連結会計年度末に比べて69億19百万円増加しております。これは主に、買入債務が10億4百万円、その他の流動負債が2億65百万円、長期借入金が58億20百万円、資産除去債務が2億62百万円それぞれ増加したことと、短期借入金が5億88百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は196億70百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億75百万円増加しております。

この結果、自己資本比率は43.2%（前連結会計年度末は51.8%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ12億54百万円増加し、49億99百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果による資金の増加は10億68百万円（前年同期は11億58百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益10億83百万円、減価償却費5億90百万円及び法人税等の支払額4億19百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果による資金の減少は47億68百万円（前年同期は13億63百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出47億6百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果による資金の増加は49億54百万円（前年同期は73百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入れによる収入62億円、短期借入金の純減額4億88百万円、長期借入金の返済による支出4億80百万円、配当金の支払額2億36百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2025年5月12日付「2025年3月期 決算短信」において発表しております2026年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,759,238	5,014,245
受取手形、売掛金及び契約資産	2,986,738	3,019,656
電子記録債権	281,789	352,590
商品	4,819,133	6,120,201
販売用不動産	233,900	586,491
仕掛販売用不動産	310,033	18,105
その他の棚卸資産	28,217	40,886
その他	308,692	606,043
貸倒引当金	△1,863	△2,959
流動資産合計	12,725,881	15,755,262
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,336,775	14,181,551
土地	2,973,700	2,988,218
その他（純額）	3,737,430	3,124,815
有形固定資産合計	16,047,906	20,294,585
無形固定資産		
その他	369,140	388,152
無形固定資産合計	369,140	388,152
投資その他の資産		
その他	2,250,145	2,449,123
貸倒引当金	△4,688	△4,503
投資その他の資産合計	2,245,457	2,444,620
固定資産合計	18,662,504	23,127,358
資産合計	31,388,386	38,882,621
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,768,262	2,698,130
電子記録債務	471,215	545,807
短期借入金	3,998,200	3,410,000
未払法人税等	456,399	449,510
賞与引当金	235,506	288,088
その他	997,668	1,262,998
流動負債合計	7,927,251	8,654,535
固定負債		
長期借入金	2,542,500	8,362,500
役員退職慰労引当金	29,010	29,010
退職給付に係る負債	357,178	369,603
資産除去債務	598,980	861,201
その他	838,545	935,749
固定負債合計	4,366,215	10,558,065
負債合計	12,293,466	19,212,600

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,427	834,427
利益剰余金	14,265,433	14,688,603
自己株式	△133,042	△133,065
株主資本合計	15,760,167	16,183,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	424,111	518,360
土地再評価差額金	76,722	76,722
その他の包括利益累計額合計	500,833	595,082
非支配株主持分	2,833,918	2,891,623
純資産合計	19,094,919	19,670,020
負債純資産合計	31,388,386	38,882,621

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上高	18,094,682	19,293,955
売上原価	12,662,772	13,340,294
売上総利益	5,431,909	5,953,660
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,708,099	1,878,292
賞与引当金繰入額	264,165	283,741
退職給付費用	28,637	26,586
貸倒引当金繰入額	1,046	1,121
その他	2,356,651	2,726,504
販売費及び一般管理費合計	4,358,599	4,916,245
営業利益	1,073,310	1,037,415
営業外収益		
受取利息	183	586
仕入割引	32,629	31,874
その他	44,019	57,078
営業外収益合計	76,831	89,540
営業外費用		
支払利息	7,380	37,460
その他	1,828	3,385
営業外費用合計	9,208	40,846
経常利益	1,140,933	1,086,109
特別損失		
固定資産除売却損	—	2,239
特別損失合計	—	2,239
税金等調整前中間純利益	1,140,933	1,083,869
法人税、住民税及び事業税	470,356	411,257
法人税等調整額	△65,699	△74,985
法人税等合計	404,657	336,271
中間純利益	736,275	747,597
非支配株主に帰属する中間純利益	151,830	87,104
親会社株主に帰属する中間純利益	584,445	660,492

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	736,275	747,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,261	94,248
その他の包括利益合計	△39,261	94,248
中間包括利益	697,014	841,846
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	545,183	754,741
非支配株主に係る中間包括利益	151,830	87,104

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,140,933	1,083,869
減価償却費	486,941	590,038
賞与引当金の増減額（△は減少）	57,508	52,581
貸倒引当金の増減額（△は減少）	866	911
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	3,552	12,424
受取利息及び受取配当金	△14,483	△18,428
支払利息	7,380	37,460
固定資産除売却損益（△は益）	—	2,239
売上債権の増減額（△は増加）	△1,086,908	△98,163
棚卸資産の増減額（△は増加）	△705,885	△1,374,399
仕入債務の増減額（△は減少）	1,118,297	1,004,460
未払消費税等の増減額（△は減少）	△243,697	△255,494
その他	607,107	470,720
小計	1,371,613	1,508,220
利息及び配当金の受取額	14,482	18,420
利息の支払額	△7,170	△38,430
法人税等の支払額	△220,634	△419,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,158,291	1,068,540
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△438	△166
有形固定資産の取得による支出	△1,306,757	△4,706,437
無形固定資産の取得による支出	△43,765	△72,070
投資有価証券の取得による支出	△13,208	△3,926
投資有価証券の償還による収入	—	20,000
貸付けによる支出	—	△5,700
貸付金の回収による収入	208	224
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,363,960	△4,768,075
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	542,000	△488,200
長期借入れによる収入	—	6,200,000
長期借入金の返済による支出	△365,000	△480,000
自己株式の取得による支出	—	△22
配当金の支払額	△207,590	△236,077
非支配株主への配当金の支払額	△35,280	△29,400
リース債務の返済による支出	△8,084	△11,931
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,954	4,954,369
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△279,623	1,254,834
現金及び現金同等物の期首残高	3,864,043	3,744,387
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,584,419	4,999,221

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	5,389,502	11,426,010	46,650	390,956	635,845	17,888,965
その他の収益	—	—	205,716	—	—	205,716
外部顧客への売上高	5,389,502	11,426,010	252,367	390,956	635,845	18,094,682
セグメント間の 内部売上高又は振替高	226,681	762	18,540	1,428	2,070	249,481
計	5,616,183	11,426,772	270,907	392,385	637,915	18,344,164
セグメント利益 又は損失（△）	467,383	695,638	121,349	21,660	61,225	1,367,256

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,367,256
セグメント間取引消去	△2,009
全社費用（注）	△291,936
中間連結損益計算書の営業利益	1,073,310

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	卸売 事業	小売 事業	不動産 事業	足場 レンタル 事業	サッシ・ ガラス施工 事業	合計
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	5,199,213	12,082,240	733,368	391,660	665,421	19,071,904
その他の収益	—	—	222,050	—	—	222,050
外部顧客への売上高	5,199,213	12,082,240	955,419	391,660	665,421	19,293,955
セグメント間の 内部売上高又は振替高	238,877	684	18,540	970	1,255	260,326
計	5,438,091	12,082,924	973,959	392,630	666,676	19,554,282
セグメント利益 又は損失（△）	392,853	346,683	471,732	35,283	66,514	1,313,067

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,313,067
セグメント間取引消去	△2,828
全社費用（注）	△272,824
中間連結損益計算書の営業利益	1,037,415

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。